

# 東海林智さん（毎日新聞社会部記者）の講演 非正規労働者の実態と16春闘の課題

とき：2月13日(土)14:00～ ところ：日港福会館(日本港湾福利厚生協会)2F



日港福会館(日本港湾福利厚生協会)  
所在地 東京都大田区蒲田5-10-2  
電話 03-3735-1281  
交通 JR蒲田駅東口より徒歩3分

安倍政権は、昨年9月、改正労働者派遣法を成立させ、一時的・臨時的であった派遣労働を恒常的な労働にしました。「派遣労働者の正社員化を促進するため」と安倍は言いますが、事態はアベコベで、職場から正社員がいなくなり、いつも派遣労働者がいる職場になってしまいます。

そして、ホワイトカラーエグゼンプションなどの労働時間の規制緩和、解雇の金銭解決など解雇規制の緩和を推し進めようとしています。

非正規労働者は2000万人を超え、労働者の4割に達しています。今や非正規労働者の賃金・労働条件の改善なしに日本の労働運動の未来はありません。安倍は最低賃金を3%引き上げると言っています。

安倍の労働政策が非正規労働者の福音になるのか。連合の方針である「底上げ・底支え・格差是正」が実現するのか。そして、非正規労働者はどうするのか。

常に鋭い視点で労働問題を追っかけている毎日新聞記者の東海林智さんに、非正規労働者の実態を踏まえながら、16春闘における労働組合の課題について問題提起をしていただきます。

(主催：労働運動研究討論集会実行委員会)

**N関労東** (東日本NTT関連合同労働組合)  
TEL 03-5820-2070 FAX 03-5820-2080